

開

所

式

風

景



↑ 所長の式辭 壇上左から南原東大總長，瀬藤生研所長，文相代理平島文部政務次官，總司令部經濟科學局ケリー博士，龜山日本學術會議會長，石川經濟團體連合會會長，井上工業技術廳長官，石橋千葉縣副知事

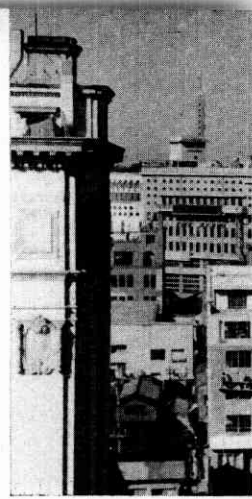


熱心にききいる來賓及び職員學生 ↓

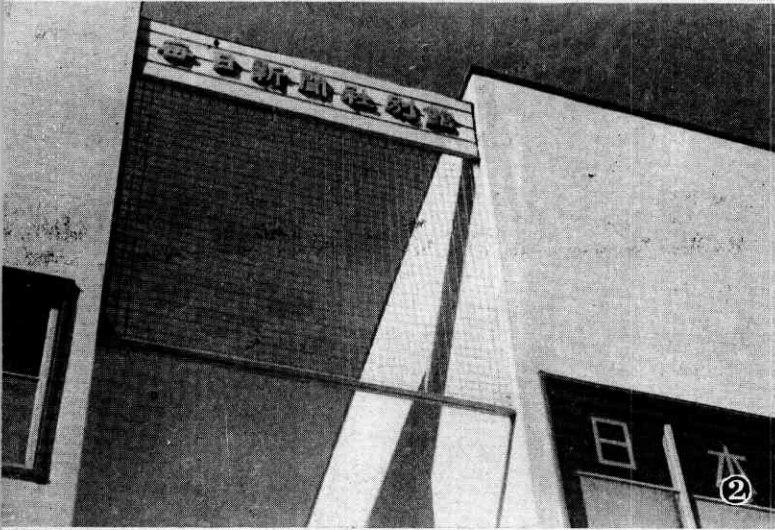




① 大東京の心臓有楽町はハイヤー、バスの流れで舗道横断はいのちがけ、まっ白な壁も眞新しく復興したモダンな商店と事務所、プラタヌスの並木と街行く人に心のたのしさを與える。



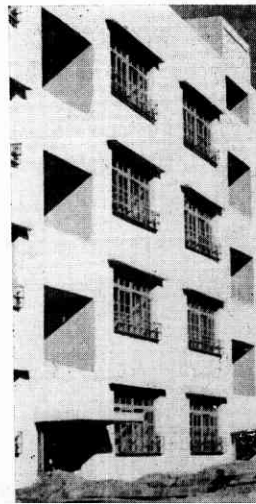
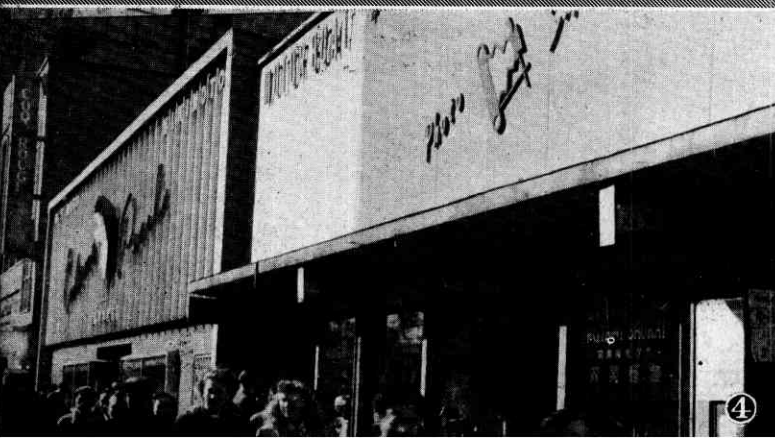
② スマートな白い壁をおおげば、くつきりと碧空にうかぶ清新な建物の輪割とこれをつなぐ金網のネット……みるからに輕快で若人の心はずむ。



③ ガラスと金属は新しい材料として、人の心を引きつける。みがかれた大きな窓にうつるふわりと流れる浮雲は行く人の心に都會の哀愁を感じさせる。



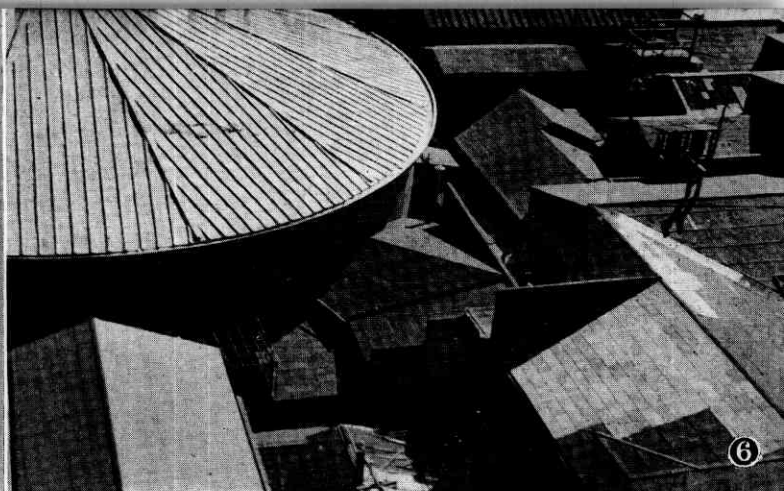
④ 相變らずにぎわう銀座の舗道、立ち並ぶ共同商店のマークもモダンで、色どりもあざやかな外人の服装にもよくマッチしている。





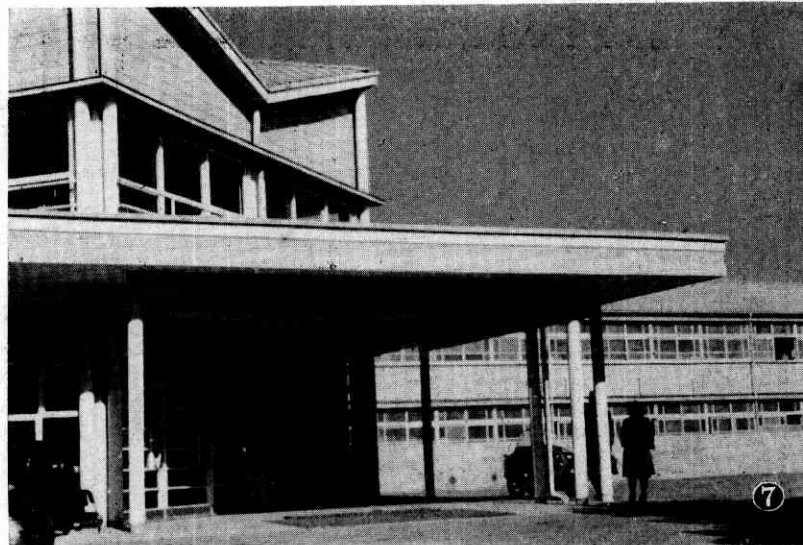
⑤

⑤ ぎつしりと立ち並んだコンクリートのビルの群、しかしこれはいずれも戦前のもので、本格的な復興はまだまだという感じが深い。



⑥

⑥ 銀座裏に一步ふみ込めば、堂々たる表の外観にも似合わず、相変わらずタン屋根と物干場の亂舞、一度火事が起つたら折角の復興都市も一朝にして灰の都となるのが現状である。



⑦

⑦ 大切な人命を預かる病院にしても、外見はモダンで、すがすがしいがよく見るとベンキのはげた木造で、一寸した火の不始末からでも、由々しい人命の損失がさげられないと気が氣でない。

⑧⑨ これからはどうしても不燃都市にしなければならない。その一步として、かつては近衛騎兵の練兵場として知られた戸山ヶ原に、たくましいコンクリートの共同住宅群が建設されて行く。我々は科学技術をみがいて、いつの日か日本のあらゆる都市がこのような姿にかわるのを楽しみに待とう。



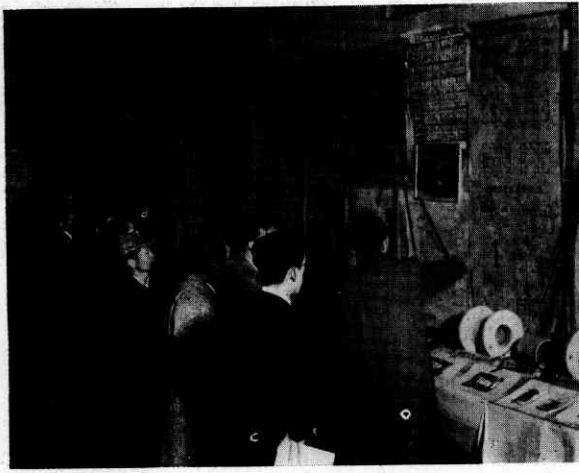
⑧



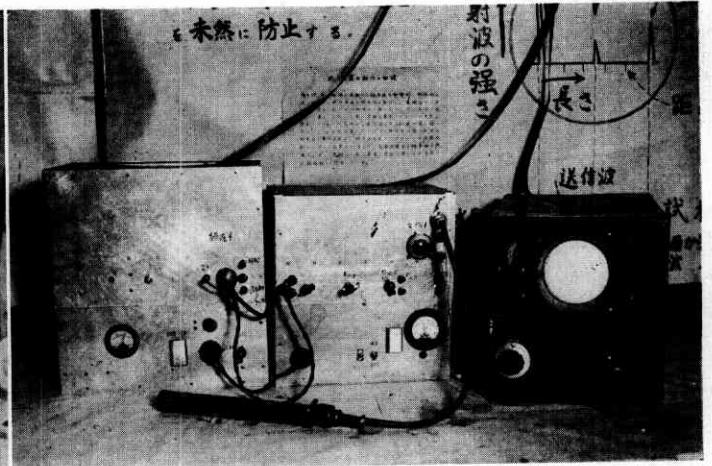
⑨



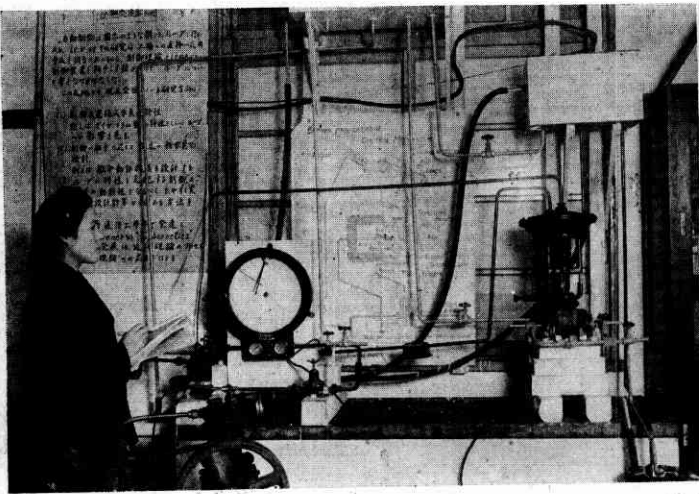
# 開 所 式 展 示 の 一 部



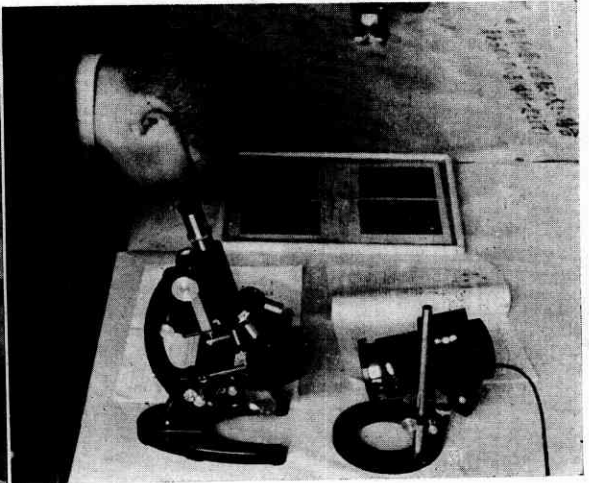
① 集中展示場参観中の中國代表團  
(説明者 星野教授)



② レーダー方式で材料内の見えない傷を探知する超音波探傷器



③ 空気作動温度制御装置 (機械 高橋研究室)



④ 参観者の興味をひいた位相差顕微鏡



⑤ 工学の醫學分野への進出として注目された脳波記録装置